



東西線高架下に植物工場を開設します 完全人工光型植物工場での試験栽培を開始

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）とメトロ開発株式会社（本社：東京都中央区 社長：矢萩 秀一）は、東京都江戸川区にて植物工場の共同運営を開始いたします。

東西線西葛西駅～葛西駅間の高架下に完全人工光型植物工場を建設し、人工光を利用した水耕栽培により、天候等に左右されることなく、農薬を一切使用しない安全な野菜の安定的な栽培を行います。

栽培品目はレタス類、ベビーリーフ類のほか、低カリウムレタスなどの高付加価値野菜を予定しています。栽培ノウハウの習得や販路の開拓を経て、二年間の試験期間ののちに、事業化の判断を行います。

本施設は平成 27 年 1 月に栽培を開始する予定です。

詳細は別紙のとおりです。



施設概要

1 所在地	東京メトロ東西線高架下（西葛西駅～葛西駅間）
2 面積	敷地面積 約330㎡
3 栽培開始	平成27年1月
4 栽培品種	レタス類、ベビーリーフ類、低カリウム野菜などを予定
5 特徴	高架下の遊休地を利用して、完全人工光型植物工場での水耕栽培による栽培を行います
6 初収穫	平成27年2月頃
7 収穫予定量	日産120株程度
8 使用プラント	㈱成電工業（本社：群馬県高崎市）Social Kitchen「Plant series」

栽培予定品種の一部

フリルレタス



サンチュ

ベビーリーフ各種
(コスレタスミニ・ロメイン等)

※写真はイメージです

本施設で栽培される野菜の特徴

安心・安全

農薬を使用していないため、安心してお召し上がり頂けます。

おいしく・食べやすい

えぐみやアクが少ないため、お子様や野菜が苦手な方でもおいしくお召し上がり頂けます。

品質・供給が安定

季節や気候の影響を受けないため、1年中安定した品質・価格で野菜をご提供することが出来ます。

調理が簡単

人工光を利用した水耕栽培のため、調理の際に虫や土を取り除く必要がありません。

廃棄ロスが少量

菌の侵入を制限した環境下で栽培することから雑菌による野菜の傷みが少なく長期保存が可能なことや、外側の葉までキレイに使用できるため、廃棄ロスを少量に抑えることができます。